

センス・オブ・ワンダーを思い出し...

窓から見える庭の木にセミの抜け殻が増えていった8月の初め。一度、羽化をこの目で見たいと思っていたのですが、中旬からの雨続きでセミの声がピタッと止んでしまいました。

まだ地中には外へ出る準備をしたセミたちが残っていたのではないかと心配です。今年も豪雨の被害に遭った地域も出てしまいました。雨の降り方が怖いです。

「自然は沈黙した。…鳥たちはどこへ行ってしまったのか。」レイチェル・カーソン著『沈黙の春』の言葉です。人間による生態系の破壊は、食物連鎖の中にあつて確実に人間にも影響する。そのことを、自然のうめきを感じとりながら科学的に証明した本です。「人間だけの世界ではない」との見方は、80年前のアメリカ人の暮らしを変えていく意識を高めました。

今年5月出版の『13歳からのレイチェル・カーソン』は、今私たちが直面している環境の激変の時代に、再びカーソンの声を思い起こさせてくれる一冊です。カーソンの時代に

はなかつた温暖化、異常気象、そしてコロナ。ほかにも貧困、差別、紛争などの地球規模の問題に対して、著者上遠さんは言います。

「**センス・オブ・ワンダーという感性は、社会のあらゆることにアンテナを張り巡らせて感じる**こと」、「**これまでのくらしやライフスタイルを見直し、あらたなくらしを選ぶということが大切です**」

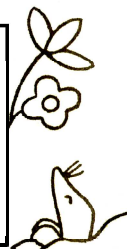
コロナ禍、新たな生活を強いられている私たち。「強いられている」という後ろ向きな姿勢ではいけないのでしょうか。今の生活も未来も大事。そのためになすべきことを選択していく感性を持ちたいと思います。(さつき)



※ホームページでも紹介しています。「みやがわ書店」で検索するか下のQRコードで



えほんと童話の店 **みやがわ書店**
 〒519-0505 三重県伊勢市小俣町本町163(JR宮川駅前)
 電話・FAX 0596-22-4317 Eメール ehonbaba@gmail.com
 定休日 毎週日曜日・木曜日 営業時間 AM10:00~PM6:00
 ホームページ <https://www.miyagawaehon.com>



8/17(火)のおはなし会より「もこもこもこ」など



生後8ヶ月からおはなし会に参加している双子の**さんなちゃん**と**かれんちゃん**。10ヶ月になってくると、色々違いがでてきます。**かれんちゃん**はずっと絵本に集中。**さんなちゃん**はまわりのことに目を向けながらも、やっぱりおはなしの世界に戻ってくるのです。

さてこれからどんな変化を見せてくれるのでしょうか。少しずつ成長する姿と、お二人のそれぞれが楽しみです!

「絵本はこころの栄養」を体感

5才のかりんちゃん。お盆を過ぎた頃、祖父母とママと妹の5人でご来店。「みやがわ書店のおばあちゃんに『かいじゅうたちのいるところ』を読んであげる!!」と、とても上手に読んでくれました。

私の持論として、「絵本はこころの栄養」と伝えてきました。まさに、84才の私の心に5才のかりんちゃんから、そしてかりんちゃんの心の中にもこの1冊の絵本によって素敵な栄養をもらうことができました。



お知らせ

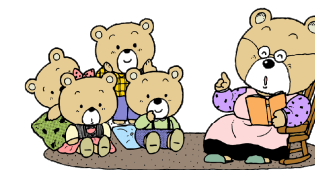
2021 9

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
				定休日		
5	6	7	8	9	10	11
定休日		おはなし会		定休日		おはなし会
12	13	14	15	16	17	18
定休日		大人の ための 絵本の時間		定休日		
19	20	21	22	23	24	25
定休日	営業します	おはなし会		営業します		おはなし会
26	27	28	29	30		
定休日				定休日		



おはなし会

7日(火) 11:00~
 11日(土) 14:00~
 21日(火) 11:00~
 25日(土) 14:00~



大人のための絵本の時間

14日(火) 10:00~

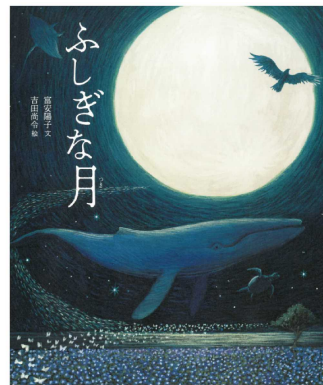
紙芝居ピッポの会ミニ講座

今月はお休みします



「ぼくのうまれたところ、
ふくしま」
松本春野 作・絵
福島民友新聞社 1,650円

10年前の大惨事、そこからの復興の努力を見続けてきた春野さん。遠いところのことと忘れてしまいそうな私たちに、明るい未来を感じさせる物語として届けてくれました。



「ふしぎな月」
富安陽子 文
吉田尚令 絵
理論社 1,650円

あたり前にあるのに何故かながめてしまう月。お月さまって不思議…。その不思議さを、こんな風に表現するなんて!! こっぴりした絵も素敵。



「おつきさまのパンケーキ」
作・絵 真珠まりこ
ほるぷ出版 1,078円

「もったいないばあさん」の作者のかわいい新刊。きれい(おいしそう)なお月さまの色に赤ちゃんもくぎづけ!



「すやすや おやすみ」
石津ちひろ ぶん
酒井駒子 え
福音館書店 880円

動いていたものたちがページをめくると「すやすやおやすみ」。静かな絵と安心しきった寝顔があっけなくてかわいい。

ちがった角度からねこのこと、
ペットのことを考えてほしい2冊の絵本



「あるすてねこさんのおはなし」
はしものえりこ 絵
うすいあさみ 作
かがわ出版 1,760円

きつとママはむかえにくる…そう信じていたねこ。頑張っって外の生活に耐えていたのだけど…。

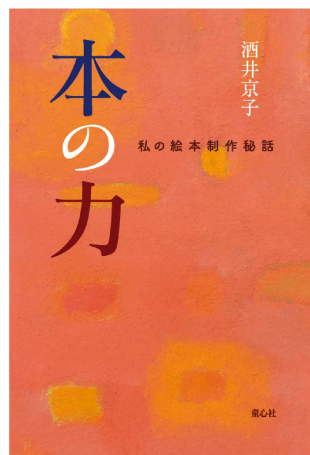


「うちのねこ」
高橋和枝
アリス館 1,540円

野良猫だったねこが人と暮らすようになるには…。ねこの気持ちを考えさせられる本。

大人コース

★著者の酒井京子さんから
寄稿いただきました



「本の力」
酒井京子 著
童心社 1,650円

人生って何がおこるかわからない。長年、編集の仕事をしてきた私が、本を出版するなんて、思いもよらなかった。

この本は、たまたま名古屋で私が編集した絵本の話をしたことが、きっかけとなった。最初は冊子の予定だったが、それを読んだ童心社の社長と編集長が童心社で出版したいと言い出して、事態は大きく変わった。というのは、出版となれば使う言葉がちがってくるし、それにしがたって漢字カナの表記もきちんとしなければならぬ。たとえば、「ですます調」にするか「だっただ調」にするか? 田中一光さんのような超有名なデ

ザイナーも、最近の若者は知らないかもしれないので、ルビをふる必要があるのではないかとか。

そのために、何度校正をしたかわからない。その上、現存している方には、内容に間違いはないか確認をとる必要もある。コロナで、自宅作業が多かったが、こんな忙しい日々は久しぶりであった。

同時進行で『ありがとう—田畑精一さんの歩いた道』展の準備も重なり、私は、本当に充実した日々を過ごすことができた。その上、たくさんの書評にとりあげられるというご褒美ももらえた。

今は、長年一緒に本創りをしていただいた著者の皆さんに、「ありがとう」と改めて言いたい。

(酒井京子)



「トムをみつけよう 中国(明)」
協力 大英博物館
絵 ファッティ・バーク
訳 山根玲子
BL出版 1,980円

中国の明の時代にタイムスリップ! 建物、舟、つば、衣装など見て回りながらトムを探します。既刊に古代ローマ、エジプト、ギリシャがある歴史探検シリーズ。

新刊紙芝居



「むしさんのめ」 8場面
作 ねもとまゆみ
絵 夏目 尚吾
童心社 1,540円

チョウチョ、トンボ、カマキリ、ダンゴムシなど、小さな虫たちの小さな目を、大きく描いて働きを教えてください。

※金額はすべて税込です